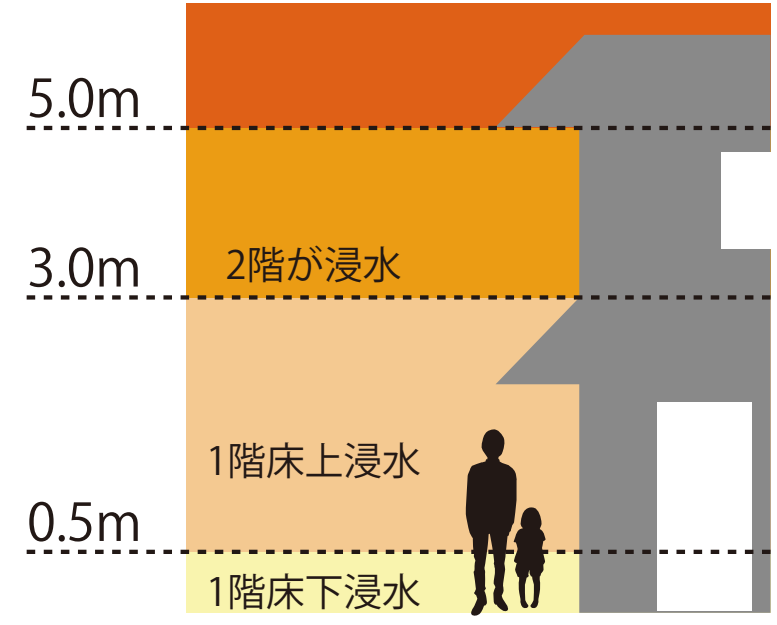


赤尾川 水害危険情報図(L2)

浸水深の目安

ご自宅の
浸水の深さを
確認しましょう



このハザードマップについて

●水害危険情報図とは、洪水浸水想定区域図の作成手法を基本としつつ、簡略化した方法で作成し、浸水が想定される区域と浸水深さを表示した地図です。

●1,000年に1回程度発生する大雨(想定最大規模[L2])を前提に作成しています。

★このマップは、赤尾川の浸水想定を表した図であり、色が塗られていない地域であっても、他の河川の影響を受ける可能性があります。複数の河川を重ねあわせた「大垣市洪水ハザードマップ」(令和3年3月作成)もご確認ください。
なお、浸水が想定されている区域外であっても、降雨状況によっては浸水する可能性があります。

想定条件		
河川名	確率	前提となる降雨量
赤尾川	1,000年に1回	赤尾川流域の1時間降雨量176mm(降雨強度)

凡 例

▼浸水深 (ランク別)

- 5.0m 以上
- 3.0m 以上 5.0m 未満
- 0.5m 以上 3.0m 未満
- 0.5m 未満

▼避難施設

- 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

避難施設の利用のご注意

- 2階(3m)以上浸水する場合は3階以上で利用できる施設
- 利用できない可能性がある施設 ※地震時は利用可能

- 大垣市
- 行政界
- 市役所
- 消防署
- 警察署
- 国道
- 県道
- 地下道(アンダーパス)
- J R
- その他鉄道
- 鉄道駅
- 高速道路
- インターチェンジ
- スマートインターチェンジ
- ジャンクション
- サービスエリア